

慢性心不全に合併したうつ病と運動介入についての研究

研究分担者 木村 宏之

名古屋大学大学院医学系研究科

細胞情報医学専攻脳神経病態制御学講座精神医学分野 講師

研究要旨

研究目的: 慢性心不全患者において、うつ病の合併は再入院率や死亡率の増加と関連し、患者の生活の質（quality of life : QOL）や生命予後を悪化させる。本研究では、慢性心不全（Chronic Heart Failure : CHF）とうつ病の合併率および関与する生物心理社会的因子の同定を目的とする。本年度は、循環器疾患の中でも CHF 患者の人格傾向について Temperament and Character Inventory (TCI) を用い検討を行った。

研究方法: 2011 年 7 月から 2012 年 3 月の期間、名古屋大学医学部附属病院にて CHF で治療を受けた入院患者のうち、50 歳以上の男性患者 15 名（CHF 群）を対象とした。対照群は、CHF 症状を有さず、CHF 群と年齢と性別を一致させた 27 名（健常群）。人格傾向の評価として TCI を使用した。

結果: CHF 群は健常群に比べ、固執 ($p=.024$) と協調性 ($p=.031$) が、健常群に比べ有意に低く、物事への持続性や忍耐力に欠け、利己的で周囲への寛容さに欠ける傾向があることが示唆された。しかし、横断面のみの評価であり、この人格傾向が発症前から存在したか否かは不明である。

まとめ: 当院における、男性 CHF 患者の人格傾向が明らかとなった。今後、リミテーションを考慮した研究デザインに基づき、CHF 患者特有の人格傾向が治療経過にどのような影響を及ぼすのか、検証を継続する予定である。

研究協力者氏名・所属施設名及び職名

足立康則 名古屋大学大学院医学系研究科 博士課程

佐藤直弘 名古屋大学大学院医学系研究科 博士課程

A. 研究目的

循環器疾患の発症や予後と人格傾向の関連について、タイプA行動やタイプDパーソナリティ等多くの研究が行われ、発症・予後との関連が指摘されている。Cloningerが開発した気質と人格の7次元モデルに基づくTemperament and Character Inventory (TCI)を用いた検討でも、人格傾向が冠動脈疾患の危険因子との結果も報告されているが、既報の知見は一致していない。そこで、循環器疾患の中でもCHF患者の人格傾向についてTCIを用い検討を行った。

B. 研究方法

2011年7月から2012年3月の期間、名古屋大学医学部附属病院にてCHFに対する治療を受けた入院患者のうち、50歳以上の男性患者15名(CHF群)を対象とした。対照群は、CHF症状を有さず、CHF群と年齢と性別を一致させた27名(健常群)。人格傾向の評価としてTCIを使用した。TCIの下位尺度として、幼少期から顕れる気質(Temperament)の4次元(新奇性追求/損害回避/報酬依存/固執)と環境の影響が関与する性格(Character)の3次元(自己志向/協調/自己超越)がある。

(本研究は、名古屋大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院生命倫理委員会の承認内容に則り、文書による説明と同意を得た患者を対象として、個人情報保護に配慮して、遂行している。)

C. 研究結果

対応のないt検定を用いて、CHF群とControl群のTCIの下位尺度の比較検討を行ったところ、CHF群は健常群に比べ、固執($p=.024$)と協調性($p=.031$)が、健常群に比べ有意に低かった。

D. 考察

CHF群は、健常群に比べ、物事への持続性や忍耐力傾向や、利己的で周囲への寛容さに欠ける傾向があることが示唆された。このような傾向は、当院の患者において治療アドヒアランスが低く、入院頻回な男性患者が多いという臨床時間と臨床時間と重なるところがある。しかし、サンプルサイズが小さく、当院の診療特性などのサンプリン

グバイスなど幾つかのリミテーションがある。さらに、横断面の評価のみであり、この人格傾向が発症前から存在したか否かは不明である。今後、CHF患者特有の人格傾向が治療経過にどのような影響を及ぼすのか、検証を継続する予定である。

E. 結論

当院における、男性のCHF患者の人格傾向が明らかとなった。今後、リミテーションを考慮した研究デザインに基づき、CHF患者特有の人格傾向が治療経過にどのような影響を及ぼすのか、検証を継続する予定である。

F. 健康危険情報

本研究で実施された質問紙や構造化面接に伴う有害事象は認められなかった。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

第69回日本循環器心身医学会総会

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし